

ACCESS



■ 公共の交通機関で

- ◎ JR高松駅から市営バスに乗り「看護大学・看護大学前」下車／約5分
- ◎ JR金沢駅からIRいしかわ鉄道・JR七尾線で、高松駅下車／約30分
- ◎ JR七尾駅から七尾線で高松駅下車／約50分

■ 車で

- ◎ 金沢森本ICからのと里山海道へ、県立看護大IC下車／約25分
- ◎ 小松空港から北陸自動車道小松ICへ、金沢森本ICで降り、のと里山海道へ、県立看護大IC下車／約1時間
- ◎ のと里山空港からのと里山海道へ、県立看護大IC下車／約1時間



主な沿革

- 平成12(2000)年4月 石川県立看護大学開学
- 平成16(2004)年4月 大学院看護学研究科  
修士(現在 博士前期)課程を開設
- 平成18(2006)年4月 大学院看護学研究科  
博士後期課程開設
- 平成23(2011)年4月 公立大学法人化
- 平成30(2018)年4月 大学院看護学研究科  
博士前期課程に助産師養成課程を開設



■ 大学院

〒929-1210 石川県かほく市学園台1丁目1番地  
 TEL 076-281-8300(代)  
 FAX 076-281-8319  
 E-mail : office@ishikawa-nu.ac.jp  
<https://www.ishikawa-nu.ac.jp>



大学院案内  
2025  
大学院看護学研究科  
GRADUATE  
SCHOOL

大学院のススメ。

多様性の時代が求めるのは、  
見るを、越える。



## 学長 Message

生きる力を、見て、護る。

看護の世界は思った以上に広くて深い。

見るほどに現実を知る。

それでも、看護の未来のために探究を続けよう。

技術はもっと進化し、きっと多くの人に届く。



## 次世代の看護学を創造する大学院生へ

当大学は、1000年に一度の能登半島地震を最も間近で経験した看護大学です。被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、災害に強い大学になることへの使命感を強く感じております。その根底にあるフィロソフィーは命の尊さであり、それは何物にも代えがたく、看護学の神髄といえます。

一方、Nursing is an art based on science (Florence Nightingale)、といわれるように、看護学は科学を基盤としている実践科学です。2040年の未来予測によると、これからの15年間は超高齢社会への医療・福祉対策は最も逼迫した課題となっていきます。

そのためには、人と先端技術が共生し、一人ひとりの生き方を共に支えるイノベーションが要求されています。その中で看護学には、個々人の幸福寿命に向けた理論・技術の開発が要求されます。

この思想のもと、博士前期課程では、多くの論文を読んで、ロジカルシンキングだけでなく、クリティカルシンキングを学び、次世代の看護学にどのような理論や技術が必要か明らかにしましょう。そして、博士後期課程では、その新たな理論の構築のための基礎研究、または技術の開発などの応用研究、それを現場に

届けるための実装研究など、様々な学際的な研究方法を学び、当大学であなたにしかできない看護学に資する研究をしましょう。

石川県立看護大学は、石川県のみならず、All Japanとして、他県、他国の大学院生を迎えることができるシステムとなっています。教員たちは、どこからでも大学院生を仲間として迎え、ディスカッションを繰り返し、ともに成長することを楽しみにしています。

従来の当大学でのユニークな研究に加え、今回の能登半島地震で学んだ過疎・超高齢者在住地域における支援モデルの構築のために、グローバルな立ち位置で、DXを取り入れ、遠隔からでも医療を提供できる看護のシステムや理論・技術を創造する研究も継続いたします。

療養者のそばで最も対象者のニーズを見る立場で、最新の研究を知り、次世代の看護の探究するための研究を、教員と共に当大学院で体験してみませんか。

そして今後も被災地に寄り添い、震災からの復旧及び支援に、学生、教職員とともに災害に強い大学になることに全力を尽くします。

学長 真田 弘美  
Sanada Hiromi  
(東京大学名誉教授)

### Profile

石川県金沢市出身

聖路加看護大学卒業 医学博士  
米国イリノイ大学大学院留学研修  
東京大学健康科学・看護学専攻長、学科長、  
グローバルナースセンター センター長を経て2022年4月より現職

元日本看護科学学会理事長、元日本褥瘡学会理事長、  
元日本創傷・オストミー・失禁看護管理学会理事長、元日本看護協会副会長

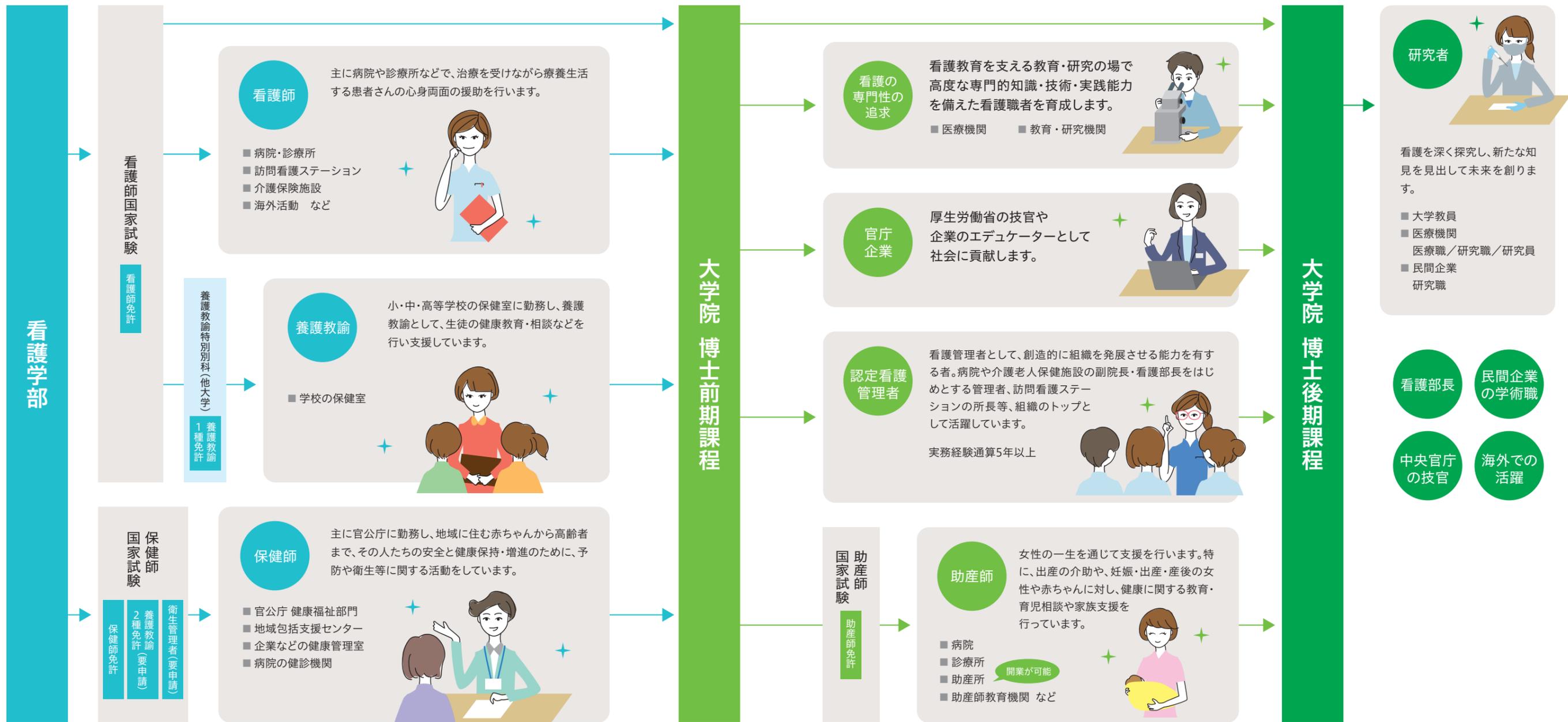


## Contents

3	学長メッセージ	11	研究教育分野の紹介
4	看護のキャリアステップ	12	研究指導教員と研究テーマ
6	大学院を修了し、活躍している先輩たち	14	大学院カリキュラム/Q & A
8	エデュケーショナル・フィロソフィー/アドミッション・ポリシー カリキュラム・ポリシー/ディプロマ・ポリシー	16	キャンパスマップ
9	研究科長メッセージ	18	入試情報/入学金および授業料など
10	大学院の構成	19	タウンガイド
		20	アクセス

# Your Future 看護のキャリアステップ

社会のニーズの高まりから看護職の可能性はどんどん広がり、臨床の現場で働くことはもちろん、教育や研究の道で活躍する道もあります。キャリアを重ねた後に、新たな高みを目指して、大学院へ進学する方もたくさんいます。新たな道へチャレンジする場を本学は提供します。



## 大学院修了生の進路

大学院創設以来、充実した指導体制のもとで修了者は大学院で身につけた幅広い見識と自身の専門性を活かし、本学内外の大学院へ進学のほか、それぞれの専門領域に関連する多種多様な職種で活躍中です。

### 主な進路(令和6年3月現在)

【修士課程・博士課程修了生(平成30年度～令和5年度)】

#### ■ 大学: 教員

石川県立看護大学、福井県立大学、金沢医科大学、公立小松大学、島根県立大学、兵庫県園田学園女子大学、福岡国際福祉医療大学など

#### ■ 行政機関: 医療職、保健師等

石川県、岐阜県など

#### ■ 民間企業等: 保健師

PFU

#### ■ 医療・研究機関: 医療職、研究員

金沢大学附属病院、富山大学附属病院、石川県立中央病院、金沢医療センター、金沢医科大学病院、国立病院機構七尾病院、金沢市立病院、福井県済生会病院、東京医科歯科大学、杏林大学医学部付属病院、横浜市立大学附属病院、国立成育医療研究センター、大阪大学附属病院、大阪医科薬科大学病院、石川県立看護大学など

# Interview 大学院を修了し、活躍している先輩たち

本学の大学院を修了し、教育や臨床の現場で活躍している先輩に、大学院での学びや現在のお仕事などについて、お聞きしました。



## 病院看護師

持続可能な組織であり続けるために  
次世代の管理者育成や働きやすい  
職場づくりを

金沢医科大学病院 副病院長 看護部長  
中村 真寿美さん  
(博士前期課程 看護管理学分野 修了)



大学病院で副院長兼看護部長をしています。副院長としては、経営に参画し、他のコメディカルとともに患者や地域、職員に選ばれるにはどのような病院を創っていくかを戦略的に考え、組織の価値や強みを見出し続けることが務めです。看護部長としては、目指すものを示し、確実に成果が出るよう仕組みづくりをします。師長、主任にはマネジメントの醍醐味、現場スタッフには、自分たちのやっていることが患者にとって大きな意味があると感じるよう働きかけています。

大学院に進んだのは、主任になったときに苦労したことがきっかけです。ファーストレベル研修の際、マネジメントにも看護実践と同じように基本や理論があることを知り、マネジメントを基礎から学ぶために本学の看護管理コースに進学しました。

私のマネジメントテーマは、「柔軟で強い組織力」です。持続可能な組織であり続けるために、次世代の管理者育成や働きやすい職場づくりに力を入れています。経験の浅いスタッフであっても問題解決できる人材を揃えたい、また心身ともに健全な職場を実現したいと思っています。



## 保健師

宮古島での実習で学んだ  
人と人のつながりを  
大切に活動

小松市役所 長寿介護課  
角地 孝洋さん  
(博士前期課程 地域・精神・保健学分野 修了)



市役所で介護保険に関する部署に所属し、地域包括支援センターの運営や在宅医療連携の推進、認知症施策、介護予防事業に携わっています。大学院に進学したのは、東日本大震災の支援に行ったことがきっかけです。日頃の業務では、要綱等、決められた業務の中で働くことが多く、被災地では「地域の状況をアセスメントし、それに応じた活動をする」といった保健師本来の柔軟な動きができませんでした。それがショックで大学院での学び直しを決めました。大学院では、実習で宮古島に行ったことが強く記憶に残っています。島では、決められた支援ではなく、地域の人と人とのつながりの中から、新しい支援が生まれ、実践されていました。それをコーディネートするのが保健師であり、自分のやりたい活動だと思いました。そのため、修了後は、そのことを意識し、地域とのつながりを大切にしながら活動しています。結果として、その中から新たに市独自の施策につながることもあり、保健師活動の楽しい部分ともいえます。

職場で行う業務だけでは視野が狭くなることがあります。大学院では、そもそも看護とは？保健師とは？という大切な部分を突き詰めて、視野を広げることができると思います。



## 助産師

産婦さん自身のお産の体験を尊重し  
適切なサポートを心がけています

医療法人社団 あらきクリニック  
新谷 里沙子さん  
(博士前期課程 助産看護学分野 修了)



助産師として、安全な妊娠生活を維持できるように入院中の妊婦さんのケアや分娩助産、産婦さんの心身のケア、新生児のお世話、授乳や育児の介助を担当しています。

助産師になるためには専門学校で学ぶ方法もありますが、大学院では他分野の経験豊富な先輩方と学ぶことができます。そのため、助産師としてだけでなく看護師として働く上でもより貴重な体験ができると考えて大学院に進学しました。

大学院の学びでは、開業助産師として活躍されている先生の「お産の主体は産婦さんであり、助産師主体ではない」との言葉が印象的でした。産婦さんには自分が動きたいように動いてもらって、それをサポートする。あくまでも産婦さん自身のお産の体験を尊重してあげることが大切だということを知りました。

母と子の安全を第一とした適切な援助ができること、産婦さんが自分のお産を良かったと認め、自宅に帰ってから自信を持って育児ができるような関わりを心がけています。



## 大学教員

母校で「学びのバトン」を  
つないでいきたい

石川県立看護大学 教授  
米澤 洋美  
(博士後期課程 コミュニティア・看護デザイン科学分野 修了)



大学教員になって16年目になりますが、縁あって2022年度より母校である本学で教員をさせていただいております。大学院生の頃にお世話になった先生方からお預かりした「学びのバトン」を、この後に続く後輩に確実につないでいきたいという思いがあります。教員になりたいと強く思ったのは保健師として働いていた時、国立保健医療科学院の研究員としてライセンスをとった後の現任教育に携わる経験をしたことがきっかけです。看護の基礎教育を経て、ライセンスをとったのちも学び続けるその熱意や年代も所属を超えた横のつながりに深く感銘を受けました。

今、学部生と卒業研究に取り組む時には、どんなに小さなことでも疑問が解決することの楽しさを大事にしています。そして、またいつの日か、大学院生として母校に戻り、研究に取り組んでもらいたいとおもいつつエールを送る日々です。

# 大学院 看護学研究科

## 高度な専門的知識・技術・実践能力をもつ看護職者、 看護学や看護実践をリードする教育者・研究者の育成

大学院看護学研究科では、博士前期課程と博士後期課程を設置しています。  
博士前期課程では、看護教育を支える教育・研究の場で、高度な専門的知識・技術・実践能力を備えた看護職者を育成します。博士後期課程では、看護学や看護実践の発展に寄与する教育者・研究者を育成します。

### Educational Philosophy

#### 教育理念

「人間の生命や生活の質を真に理解できる豊かな人間性ととも、専門的職業人としての基盤を備え、保健・医療・福祉の幅広い領域で、県民の健康と福祉の向上に貢献できる看護職及び看護指導者を育成する」という本学の教育理念を受け継ぎ、深化・発展させる。看護を取り巻く状況が高度化・複雑化・専門化する中であって、より質の高い効果的な看護を構築・提供するために、学際的で深い科学的知識と高度の研究能力を有して看護学教育・研究・実践に携わることのできる教育者・研究者・高度専門職業人を育成し、看護学の一層の確立と看護実践の発展に努める。

#### 教育目標

- 【博士前期課程】
1. 看護学教育を支える教育・研究職の育成
  2. 高度な専門的知識・技術・実践能力を備えた看護職者の育成
  3. 女性の一生を通じた性と生殖に関わる健康を推進できる助産師の育成
  4. 生涯にわたって研鑽できる看護職の知的交流の場づくり
- 【博士後期課程】
1. 看護学や看護実践の発展に寄与する教育者・研究者の育成
  2. 科学的な理解に基づいて看護をデザインできる研究者の育成
  3. 対象の特性を踏まえた看護を実践できる研究者の育成

### アドミッション・ポリシー (入学受入方針)

看護学研究科では、以下の資質を有する優秀で意欲ある人材を広く求めています。

- 【博士前期課程】
1. 幅広い基礎学力を有し、かつ希望する専攻分野の基礎知識を有する人。
  2. 人間や社会に対して広く興味を持ち、豊かな人間性と高い倫理観を有する人。
  3. 看護学を通じて地域社会及び国際社会に貢献する意志を有する人。
  4. 専門看護師コース志願者は、対応する分野の実務経験を有し、専門看護師の資格取得を志す人。
  5. 助産実践コース志願者は、助産師の免許取得を志す人。

- 【博士後期課程】
1. 実務経験を有し、看護学への探求心を有する人。
  2. 看護学研究に対する高い動機と学びに必要な基礎的研究能力を身に付け、自立して学修する姿勢を有する人。
  3. 看護学や看護実践の発展に寄与する意志を有する人。
  4. 看護学を通じて地域社会及び国際社会に貢献する意志を有する人。

### カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

- 【博士前期課程】
- 博士前期課程では、より卓越した看護実践能力と高い研究能力を有し、看護学の研究や教育、看護実践・管理に携わることのできる研究者・教育者・高度看護実践者を育成する。研究コースに加え、専門看護師コースと助産実践コースを設け、次のような教育課程を編成している。
1. 広い視野で看護を学ぶための学際的な科目から構成されている「共通科目A」、科学的根拠に基づいた高度な看護実践能力を育成するための「共通科目B」、各研究教育分野におけるより深い専門性を学ぶ「看護専門科目」を置いている。
  2. 国際的な視野を持ち、より効果的な看護を探究し提供していくために、海外の招聘教員による国際看護を学ぶ科目を置いている。
  3. 論文作成にあたっては、研究計画の中間報告や複数教員による、組織的で計画的な研究指導体制をとっている。
  4. 専門看護師コースでは、特定分野におけるケアとキュアを融合した看護実践力、保健医療福祉チーム内の調整力などの育成をめざし、看護実践力の高い専門看護師とタイアップして日本看護系大学協議会で認定された専門看護師教育を展開している。
  5. 助産実践コースでは、助産師免許取得に必要な科目のみならず、多職種と連携してハイリスクに対応でき、多様な年代の性と生殖に関わる健康問題に応えられる専門的知識・技術や倫理的態度を育成する科目を置いている。

- 【博士後期課程】
- 博士後期課程では、看護学や看護実践の発展に寄与する研究者・教育者を育成するために、教育課程においては次のような点を重視している。
1. 広い視野で看護学の学的基盤を見据え、看護実践のもととなる原理を解明する能力や人々の健康ニーズに役立てる能力を身に付けるために、研究計画の中間報告や複数教員による組織的、かつ計画的な研究指導体制をとっている。
  2. 学位論文の審査にあたっては、他の大学院等の教員を審査委員に加える等、論文の質の向上と客観性の確保に努める。

### ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

- 【博士前期課程】
- 所定の単位を修得し、次のような研究能力や看護実践能力を有する者に修士(看護学)の学位を授与する。
1. 看護学に寄与する修士論文の作成を通して、学際的で深い科学的知識を基にした体系的な研究方法を修得している。
  2. 専門看護師コースでは、1に加えて特定の看護分野における高度な知識と技術を修得している。さらに、総合的な判断力をもって組織的に問題解決をはかる能力を身につけている。
  3. 助産実践コースでは、1に加えて専門化・複雑化する助産分野に対応できる助産実践能力と助産管理の基盤となる能力を修得している。さらに、女性のライフサイクル全般の性と生殖に関わる健康問題に応える能力を身につけている。

- 【博士後期課程】
- 所定の単位を修得し、看護学や看護実践の発展に向け、学位論文において新しい知見を産出し、自立した研究活動に必要な能力を有する者に博士(看護学)の学位を授与する。



### 研究科長 Message



研究科長 石川 倫子

### 看護学の未来、そして人々の未来を拓く

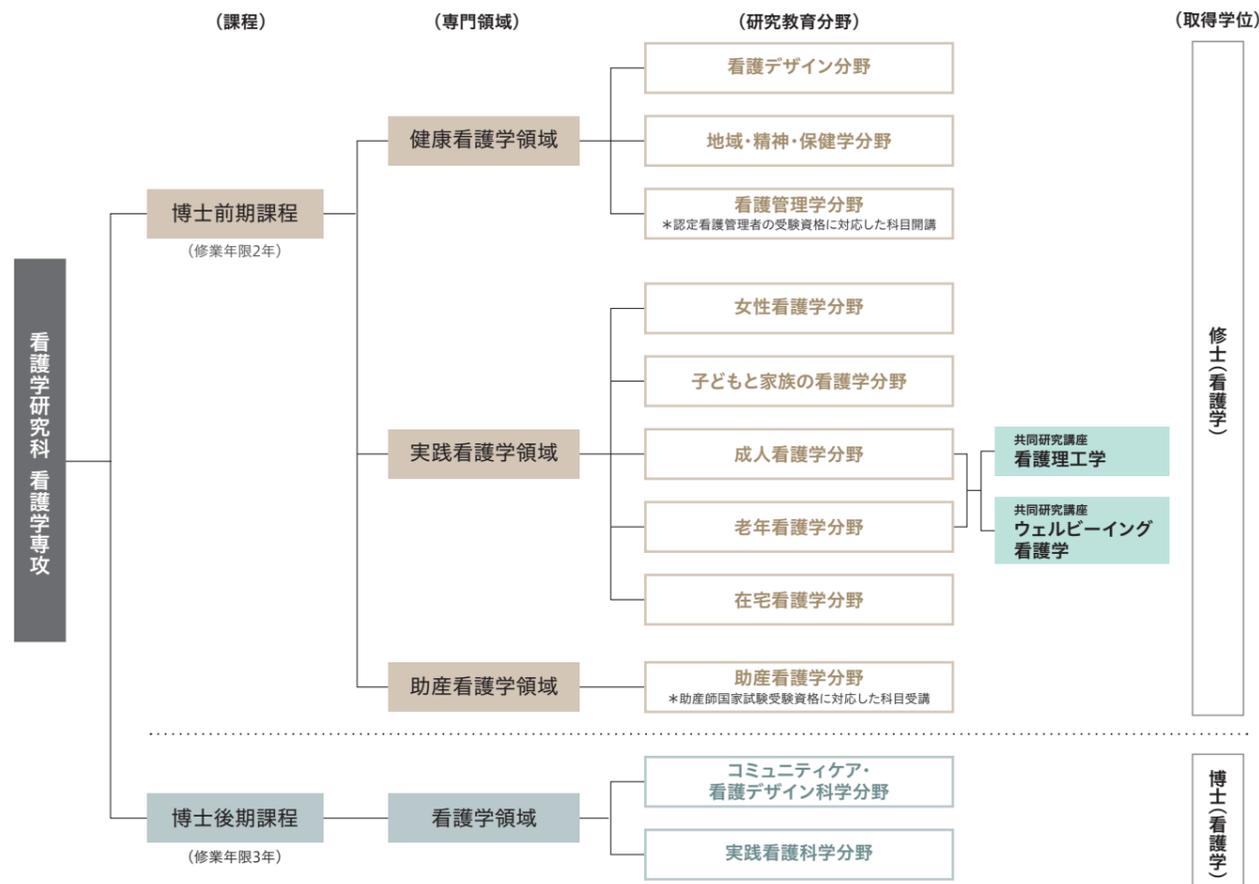
本年1月1日に発災した100年に一度の大地震と言われる能登半島地震で、奥能登の人々の日常生活は一変しました。その被災地の健康課題を目の当たりにし、被災地に一番近い大学として、これまでの自分たちの研究知見を結集して支援をしなければいけないと強く実感しました。さらに、被災地の方々の健康課題や医療課題に対応できる看護学を創造していかなければなりません。そのためには実践と学問分野、看護学と他分野の学際的な英知を結集し、常に世界を見据え、俯瞰的な視点から創造していく必要があります。

本学では、すでに共同研究講座で奥能登地域を想定した「在宅療養高齢者を護る包括的ケアシステムの創造」として、採血のいらぬ血液生化学検査「スキンプロットティング」を看護学と理学、工学、バイオロジーを融合した看護理工学で開発を始めています。また、奥能登の人々の暮らしを最も大切にしたい新しい看護ケア提供システムを確立する研究も進めております。これからも私たちにできる能登半島の人々の健康を支える看護の創造に努めてまいります。

ぜひ、皆さんも私たちとともに研究活動を行い、看護学の未来、そして人々の未来を拓いていきたいと思います。

# 大学院の構成

石川県立看護大学大学院看護学研究科には博士前期課程(修士)と博士後期課程(博士)があります。  
 博士前期課程は健康看護学領域、実践看護学領域、助産看護学領域の3領域で構成され、さらに専門の分野に分けられています。



## 研究教育分野の紹介

### 看護管理学分野

健康看護学領域の看護管理学分野では、多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族および地域住民に対して質の高い組織的看護サービスを提供するために、保健・医療・福祉の変化に応じた看護サービスの質を保证するためのヘルスケアシステムを改革・創造できる看護実践者の育成を目指しています。また、職位に関わらずリーダーシップスキル、マネジメントスキルを発揮し、看護組織の掲げる様々なレベルの目標を達成できる人材の育成も目指しています。皆さんと一緒に次世代の看護マネジメントの在り方を追究していきたいと考えています。



### 共同研究講座 ウェルビーイング看護学



共同研究講座ウェルビーイング看護学は、株式会社モルテンの出資のもと2024年度に開設されました。医療的ニーズをもちながらも在宅で療養する高齢者が寝たきりや座りきりの問題を回避しながら安全で快適な生活を送るためにはセンサ技術・ICTを活用したモニタリングや異常を早期発見するAIなどによる新しいホームケアシステムの確立が欠かせません。そこで本講座では、産学連携により在宅療養者の幸福寿命延伸、ウェルビーイングを実現するための医療機器・福祉用具の開発と実装を行っています。具体的には、高齢者が安全で快適に長時間座位をとれるためのシーティング条件の検討や座位での身体状態のモニタリング手法の開発、ケアリコメンデーションシステム、データベース構築、遠隔看護システムの構築に取り組んでいます。看護理工学や産学連携、技術開発等に関心がある方、あるいはやりたいテーマは具体的になくても何か新しいことをやってみたいという方と一緒に研究ができればと思っています。年齢、性別、キャリアは問わず、一緒に研究できる大学院生を募集しています。

### 助産看護学分野

助産師国家試験受験資格と修士の学位取得をめざします。2年間のカリキュラムの中で、女性と新しい命、その家族に必要なとされるケアを提供する力を身につけ、よりよい助産・看護に繋がる研究プロセスを学びます。女性の生き方や家族のニーズは多様で複雑化しています。健康な方をはじめ医療の力や社会のサポートが特に必要となるハイリスク母子への支援についても思考を深め、実践の場で学ぶ機会を設けています。授業や実習では、学習者のユニークな個性を大切に、学習者が自ら学ぶ姿勢を支えることを大切にしています。また、2年課程のため、1年次に実習や学習方法を先輩に相談できるのも心強いところです。ぜひ一緒に学びましょう！



### ■ 社会人の就学に関する特別措置

#### ○ 教育方法の特例

大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第14条では、夜間その他の特定の時間または時期において授業や研究指導を行うことができる道が開かれており、本学大学院では、社会人の就学のため、在職のまま在学することを認めています。

#### ○ 長期履修制度

大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第15条は、職業を有している等の事情により標準修業年限での履修が困難な者に対して、標準修業年限を越えて一定の期間にわたり計画的に履修を認める制度で、本学大学院では、平成22年度から導入しています。

\*これらの特別措置を希望する方は、志望する看護学領域の教員にご相談ください。

### ■ 助産師への道

「助産師」は厚生労働大臣の免許を受けて、助産又は妊婦、じよく婦、もしくは新生児の保健指導を行うことを業とする女子をいいます。母子のみならず、女性の生涯における性と生殖にかかわる健康相談や教育活動を通して家族や地域社会に広く貢献できる人材であり、その活動は育児支援やウィメンズヘルスケア活動を包含します。また、助産師は開業権を有し自身で開業することができます。

#### 助産師になるには...

助産師になるには助産師国家試験及び看護師国家試験に合格する必要があります。日本では様々な助産師養成課程があり、2年間で学ぶ大学院や1年間で学ぶ専攻科、大学別科、専修学校などがあります。本学では、助産師養成課程を大学院博士前期課程に設置し、助産師国家試験受験資格と修士の学位取得をめざすコースとなっています。

### ■ 認定看護管理者への道

「認定看護管理者」は多様なヘルスケアニーズを持つ個人・家族・地域住民に対して、質の高い組織的看護サービスを提供することを目指し、看護管理者の資質と看護の水準の維持および向上に寄与することにより、保健・医療・福祉に貢献できる人材です。

#### 認定看護管理者になるには...

看護師の免許を有し、実務経験が通算5年以上であり、本学博士前期課程「看護管理分野」を専攻し修士号を取得している者で、下記の要件のいずれかを満たす者が認定審査を受けることができます。  
 ①博士前期課程修了後の実務経験が3年以上である。②師長以上の職位で3年以上の管理経験を有する。

# 研究指導教員と研究テーマ

上段●:博士前期課程の研究教育分野

下段●:博士後期課程の研究教育分野

## 健康看護学領域



●看護デザイン分野  
●コミュニティケア・看護デザイン科学分野

教授 小林 宏光

- kobayasi@ishikawa-nu.ac.jp
- 療養環境の人間工学的研究
  - 心理的刺激に対する生理反応の研究
  - 生理機能・身体機能の測定を用いた看護技術評価の実験的研究
  - 歩行・睡眠・自律神経機能など高齢者の身体特性の研究



●看護デザイン分野  
●コミュニティケア・看護デザイン科学分野

教授 垣花 渉

- kakihana@ishikawa-nu.ac.jp
- 健康の維持・増進を図る体力科学研究
  - コンピテンシーを育成する教育実践に関する研究



●看護デザイン分野  
●コミュニティケア・看護デザイン科学分野

准教授 松田 幸久

- ymatsuda@ishikawa-nu.ac.jp
- ヒトの認知機能についての実験心理学的研究とその応用
  - 脳構造に着目した認知機能および精神疾患特異性についての計算論的神経科学



●地域・精神・保健学分野  
●コミュニティケア・看護デザイン科学分野

教授 米澤 洋美

- h-yonezawa@ishikawa-nu.ac.jp
- 住民参加型の健康づくりに関する研究
  - 行政保健師の現任教育に関する研究



●地域・精神・保健学分野  
●コミュニティケア・看護デザイン科学分野

教授 今井 秀樹

- imahide@ishikawa-nu.ac.jp
- ヒト集団を対象とした人類生態学的研究
  - わが国の疾病構造に関する疫学的研究



●地域・精神・保健学分野  
●コミュニティケア・看護デザイン科学分野

教授 美濃 由紀子

- mino-pn@ishikawa-nu.ac.jp
- 他害行為を行った精神障がい者の評価、治療、社会復帰支援に関する研究
  - 精神科身体合併症看護に関する研究



●看護管理学分野  
●コミュニティケア・看護デザイン科学分野

教授 石川 倫子

- ishi1995@ishikawa-nu.ac.jp
- 看護師のキャリア形成・発達に関する研究
  - 看護師の看護実践能力向上を目指した教育のあり方に関する研究



●看護管理学分野  
●コミュニティケア・看護デザイン科学分野

准教授 木田 亮平

- rkida@ishikawa-nu.ac.jp
- 持続可能な看護組織運営・看護提供に関する定量的研究
  - 健康的な職場環境に関する定量的研究
  - 医療チーム・組織づくりに関する研究

## 助産看護学領域



●女性看護学分野  
●助産看護学分野  
●実践看護科学分野

教授 亀田 幸枝

- ykameda@ishikawa-nu.ac.jp
- プレコンセプションケアの推進に関する研究
  - 出産前教育の効果や測定用具に関する研究
  - 助産師教育に関する研究
- ※実践看護学領域女性看護学分野 兼任

## 実践看護学領域



●女性看護学分野  
●助産看護学分野  
●実践看護科学分野

教授 米田 昌代

- masayo@ishikawa-nu.ac.jp
- グリーフケアに関する研究 (主に周産期の死:流産・死産・新生児死亡を対象)
  - 助産師並びに女性とその家族に関わる専門職の専門的ケアに関する研究
- ※助産看護学領域助産看護学分野 兼任



●子どもと家族の看護学分野  
●実践看護科学分野

教授 戸部 浩美

- tobejc@ishikawa-nu.ac.jp
- 家族のレジリエンス
  - 虐待・マルトリートメント予防
  - 家族のためのマインドフルネス
  - 養育態度



●成人看護学分野  
●実践看護科学分野

教授 紺家 千津子

- ckonya@ishikawa-nu.ac.jp
- 創傷、皮膚障害に対するケア技術開発に関する研究
  - 創傷・スキンケア看護における遠隔支援に関する研究



●成人看護学分野  
●実践看護科学分野

教授 今井 美和

- miwaimai@ishikawa-nu.ac.jp
- がんの予防に関する研究
  - 感染症の予防に関する研究



●成人看護学分野  
●実践看護科学分野

教授 平居 貴生

- thirai@ishikawa-nu.ac.jp
- 生活習慣病予防に関する時間生物学的研究
  - 骨代謝と栄養に関する研究



●成人看護学分野  
●実践看護科学分野

教授 峰松 健夫

- takeom@ishikawa-nu.ac.jp
- 皮膚をみる:非侵襲的スキンケアアセスメント技術の開発
  - 皮膚を守る:統合的スキンケア技術の開発
  - 皮膚からみる:皮膚をインターフェースとした病態アセスメント技術の開発



●成人看護学分野  
●実践看護科学分野

教授 臺 美佐子

- daim000@ishikawa-nu.ac.jp
- がん患者のスキンケアに関する研究
  - リンパ浮腫のアセスメント方法の開発研究
  - リンパ浮腫の遠隔ケアシステム開発研究



●老年看護学分野  
●成人看護学分野  
●実践看護科学分野  
共同研究講座ウェルビーイング看護学教授

教授 松本 勝

- matumoto@ishikawa-nu.ac.jp
- 在宅療養高齢者の幸福寿命延伸を目指したロボティクチェア開発に関する研究
  - 座位での身体状態のモニタリング手法の開発
  - 超音波検査(エコー)を用いたフィジカルアセスメントに関する研究(排泄等)
  - ICTやMR技術を活用した訪問看護の遠隔支援に関する研究



●成人看護学分野  
●老年看護学分野  
●実践看護科学分野  
共同研究講座看護理工学教授

教授 大貝 和裕

- ogaikzhr@ishikawa-nu.ac.jp
- 創傷の発生・再発における細菌叢の関与の解明と是正法の開発
  - スキンプロットの網羅的検査法の開発と応用
  - MicroRNAを標的にした創傷アセスメント技術の開発と応用



●成人看護学分野  
●老年看護学分野  
●実践看護科学分野  
共同研究講座看護理工学准教授

教授 長谷川 陽子

- haseyoko@ishikawa-nu.ac.jp
- スキンプロット法を用いた非侵襲的栄養評価法の開発と在宅栄養管理への応用



●老年看護学分野  
●実践看護科学分野

教授 真田 弘美

- sanadah@ishikawa-nu.ac.jp
- 高齢者の看護に必要な技術機器開発
  - DXと創傷ケア



●老年看護学分野  
●実践看護科学分野

教授 岩佐 和夫

- kkiwasa@ishikawa-nu.ac.jp
- 神経疾病に関する研究
  - 口腔機能に関する研究



●老年看護学分野  
●実践看護科学分野

教授 北村 言

- kitamura@ishikawa-nu.ac.jp
- 褥瘡のアセスメント、ケア技術に関する研究
  - 高齢者の在宅療養支援に関する研究



●在宅看護学分野  
●実践看護科学分野

教授 桜井 志保美

- sakurai@ishikawa-nu.ac.jp
- 家族介護者の健康支援に関する研究
  - 施設で働く介護者のストレスマネジメントに関する研究

詳細情報はこちらへ

研究者情報  
研究シーズ集



# 大学院カリキュラム

## 博士前期課程カリキュラム

### 共通科目

看護分野の基礎となる看護科学論と看護研究を必修科目として配置。広い視野と知識を持ち、人間性豊かな看護を实践するための基礎科目、より深い研究に対応できる能力を養成するための科目を選択科目として配しています。修士論文作成のための特別研究も必修です。	共通A		共通B	
	[授業科目]	[単位数]	[授業科目]	[単位数]
	●看護科学と看護理論	2	○看護管理特論	2
	●看護研究	2	○国際看護特論Ⅰ	2
	○データ分析方法論	2	○国際看護特論Ⅱ	2
	○コンサルテーション論	2	○看護福祉政策論	2
	○ケアと哲学	2	○家族看護特論	2
	○看護教育特論	2		
				(●必修 ○選択)

### 専門科目

#### 健康看護学領域

あらゆる健康レベルの人とその家族に対する総合的ヘルスケアのデザインを目的に、その理論・方法・実践能力・管理能力を養います。

#### 看護デザイン分野

[授業科目]	[単位数]	[授業科目]	[単位数]
看護デザイン論	2	看護デザイン演習Ⅰ	2
看護デザイン特論Ⅰ	2	看護デザイン演習Ⅱ	2
看護デザイン特論Ⅱ	2		

#### 地域・精神・保健学分野

[授業科目]	[単位数]	[授業科目]	[単位数]
地域看護学研究特論	1	精神保健看護学特論Ⅰ	2
地域看護学特論	2	精神保健看護学特論Ⅱ	2
地域看護診断・展開特論	2	精神保健看護学演習Ⅰ	2
地域看護診断・展開演習	2	精神保健看護学演習Ⅱ	2
地域看護管理特論	1		
地域ケアシステム開発論	2		

#### 看護管理学分野

[授業科目]	[単位数]	[授業科目]	[単位数]
看護組織論	2	看護管理演習	4
人的資源活用論	2	看護管理実習	2
看護経済・経営論	2		

#### 助産看護学領域

##### 助産看護学分野 「助産師国家試験」の受験資格に対応した科目開講

[授業科目]	[単位数]	[授業科目]	[単位数]
助産学概論	1	助産診断・技術特論演習Ⅳ(ハイリスク)	3
健康教育演習	3	助産管理特論	2
助産診断・技術特論演習Ⅰ(概論・妊娠期)	3	地域母子保健特論	2
助産診断・技術特論演習Ⅱ(分娩期)	4	助産実践実習Ⅰ-1(正常・継続)	5
助産診断・技術特論演習Ⅲ(健康教育)	2	助産実践実習Ⅰ-2(正常)	3
		助産実践実習Ⅱ(ハイリスク・継続)	2
		助産管理実習	2

#### 博士前期課程(修士) 修了認定基準

修了に必要な修得単位数……本研究科博士前期課程に2年以上在籍し、共通科目14単位数以上[必修10単位数(特別研究6単位数を含む)・選択4単位数以上]、専門科目16単位数以上、計30単位数以上を修得しなければならない。  
その他の修了要件……修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。

#### 実践看護学領域

各ライフサイクル期にある対象の特性や健康問題の理解を基盤に、看護援助の理論・方法に関する研究・実践能力を養います。

#### 女性看護学分野

[授業科目]	[単位数]	[授業科目]	[単位数]
女性看護学特論Ⅰ	2	女性看護学演習Ⅰ	2
女性看護学特論Ⅱ	2	女性看護学演習Ⅱ	2
女性看護学特論Ⅲ	2		

#### 成人看護学分野

[授業科目]	[単位数]	[授業科目]	[単位数]
成人看護学特論	2	急性期病態治療学特論	2
がん看護援助論	2	急性期援助論	2
がん病態治療学特論	2	慢性期看護学演習	4
緩和ケア演習Ⅰ	2	急性期看護学演習	4
緩和ケア演習Ⅱ	2	看護イノベーション特論	2
がん看護学演習Ⅰ	2	ビジュアル看護実践論	2
がん看護学演習Ⅱ	1	ビジュアル看護社会実装演習	4
がん看護学演習Ⅲ	1		

#### 子どもと家族の看護学分野

[授業科目]	[単位数]	[授業科目]	[単位数]
子どもの発達援助論	2	子どもと家族の援助論	2
子どものフィジカルアセスメント	2	子どもと家族のケアシステム論	2
子どもの病態治療学特論	2	子どもと家族の保健医療福祉特論	2
子どもと家族の看護演習	2	子どもと家族の保健医療福祉演習	2

#### 老年看護学分野

[授業科目]	[単位数]	[授業科目]	[単位数]
老年看護特論	2	高齢者ケアシステム論	2
高齢者健康生活論	2	老年看護演習Ⅰ(慢性期看護)	2
老化過程と病態論	2	老年看護演習Ⅱ(認知症看護)	2
高齢者援助論	2		

#### 在宅看護学分野

[授業科目]	[単位数]	[授業科目]	[単位数]
在宅看護特論	2	家族看護実習	2
在宅看護演習	2	在宅看護実習	2

## 博士後期課程カリキュラム

### 看護学領域

#### コミュニティケア・看護デザイン科学分野

あらゆる人々に対する、生活者としてのトータリティを重視したケアをデザインし、発展させることができる看護科学者の育成を目指します。

対象の生命力を高め、生活を支援するための療養環境や生活道具・設備のデザイン、看護プログラムのデザイン、看護提供環境の設計・管理のデザイン、ゼロ次予防から3次予防に至る保健・医療・福祉システムの社会的デザインとそれを裏付ける看護理論のデザイン等が含まれます。これらを効果的かつ科学的に進めるため、人文・社会・自然諸科学との学際的なアプローチを看護学の専門性と統合し、看護にかかわる現象の本質や看護実践の基となる原理の解明を重視します。

[授業科目]	[単位数]	[授業科目]	[単位数]
看護デザイン科学特論	2	コミュニティケア科学特論	2
看護デザイン科学演習A	4	コミュニティケア科学演習A	4
看護デザイン科学演習B	4	コミュニティケア科学演習B	4

#### 博士後期課程(博士) 修了認定基準

修了に必要な修得単位数……本研究科博士後期課程に3年以上在籍し、特論科目2単位数以上、演習科目8単位数以上、計10単位数以上を修得しなければならない。  
その他の修了要件……博士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。

#### 実践看護科学分野

高度な研究能力と実践力を有する人材育成を目指す前期課程「実践看護学領域」を発展させた後期課程のカリキュラムです。

対象の特性および居住する場の特性などに対応した専門的看護実践を裏付ける看護学を構築できる看護科学者の育成を目指しています。そのために、保健・医療・福祉にまたがる複雑な健康課題・社会的課題に対して、対象および家族それぞれのライフスタイルや在宅から施設に至る居住の場に応じた看護プログラムの開発やその検証を行うなど、科学的に看護学を探究します。

[授業科目]	[単位数]	[授業科目]	[単位数]
子どもと家族・女性看護科学特論	2	高齢者看護科学特論	2
子どもと家族・女性看護科学演習A	4	高齢者看護科学演習A	4
子どもと家族・女性看護科学演習B	4	高齢者看護科学演習B	4
成人看護科学特論	2	在宅看護科学特論	2
成人看護科学演習A	4	在宅看護科学演習A	4
成人看護科学演習B	4	在宅看護科学演習B	4

## 大学院 Q&A

大学院への進学を検討されている方から、よく聞かれる質問と答えをまとめました。

**Q** 博士前期課程は、社会人が勤務しながら大学院の教育を受ける「教育方法の特例」措置を受けることができますか？

**A** 本学の大学院博士前期課程を専攻する大学院生は、「教育方法の特例」措置を受けることができます。「助産実践分野」は、「教育方法の特例」措置は原則認められていません。これは、講義や演習だけでなく、医療機関で10週間に及ぶ実習の履修があり、勤務しながらの学業が非常にむずかしいためです。

**Q** 「教育方法の特例」措置(P10)を受けて、社会人として就業しながら大学院で学びたいのですが、時間割はどのようになっていますか？

**Q** 博士前期課程は働きながら2年で修了することができますか？

**A** 2年(標準修業年数)で博士前期課程の修了要件を満たすことができれば修了することができます。ただし、2年間を超えて履修し修了を目指す長期履修制度も利用できます(P10)。

**A** 就業しながら大学院の講義を受講できるように、講義は夜間(主に18時から21時)や土曜日に行われます。したがって社会人「教育方法の特例」措置をうける大学院生は、それに合わせた就業や学業のスタイルを工夫しています。

#### 博士前期課程「助産看護学分野」と「看護管理学分野」の時間割

博士前期課程「助産看護学分野」(令和5年度前期) 平日の日中受講の場合  
博士前期課程「看護管理学分野」(令和5年度前期) 夜間・土曜日受講の場合 \*社会人(「教育方法の特例」措置による)

	1時限(9:00-10:30)	2時限(10:40-12:10)	3時限(13:00-14:30)	4時限(14:40-16:10)	5時限(16:20-17:50)	6時限(18:00-19:30)	7時限(19:40-21:10)
月	アドバンストフィジカルアセスメント			助産診断・技術特論演習Ⅰ			
火	助産学概論		臨床薬理学				
水				看護研究		看護管理特論	
木			助産診断・技術特論演習Ⅱ			看護研究	
金	看護科学と看護理論			助産診断・技術特論演習Ⅲ		看護教育特論	コンサルテーション論
土	看護科学と看護理論	看護組織論または人的資源活用論					

# CAMPUS MAP

潮風が香る、丘陵のキャンパス。碧い海と緑に囲まれたのびやかな環境です。

バーチャルキャンパスツアー /  
Googleストリートビューで  
キャンパス内が見られます



## 厚生棟

食堂や売店、サークル室など、学生生活を充実させるための設備があります。校舎西側は、広大なグラウンド、トレーニングジム完備の体育館、3面の屋外テニスコートが集まるアクティブゾーンです。

- [1F]**
- ・食堂
  - ・売店
  - ・談話室
  - ・進路情報コーナー
  - ・ラーニングcommons
- [2F]**
- ・和室
  - ・サークル室
  - ・シャワー室



体育館



トレーニングジム

## 食堂

ガラス張りの明るい食堂はキャンパスのリラックス空間です。日替わりランチ450円や丼400円が人気です。



## ラーニングcommons

食堂の一角にあり、パソコンも設置。自習やグループ学習に利用されています。



売店

## 教育研究棟

講義室、演習室、研究室などがある4階建ての建物で、学びの中心です。

### [1F-2F(学習ゾーン)]

- ・講義室
- ・情報処理演習室
- ・語学演習室
- ・人間機能・病態学実験室
- ・看護学実習室
- ・看護スキルスラボ

### [3F-4F(研究ゾーン)]

- ・演習室
- ・教員研究室
- ・自習室
- ・大学院生室



## 講義室

192席を備えた学習のメイン施設です。



## 講堂

ステージと450の客席を備え、式典や講演会、ミニコンサートなどが行われています。



## 附属図書館

約6万冊の蔵書を誇る、大学の頭脳にふさわしい充実した図書館。看護の専門書や雑誌に加え、一般教養や語学関連の書籍も多く、地域の看護職者や県民に対する情報提供も行っています。館内には集中して自習できる「がんばルーム」を設置しています。



がんばルーム(自由学習室)



センターホール



## 基礎看護学実習室

看護の基礎となる技術や看護者としての基本的な態度を学びます。



## 看護スキルスラボ

最新鋭のデジタル機器を導入し、様々な症状をシミュレーションすることが可能。臨場感のある実習ができます。



## 情報処理演習室

最新機器を備え、IT化が進む医療現場での情報処理能力を養います。



## 地域・在宅・精神看護学実習室

浴室やベッド、トイレ等の居住スペースを備え、在宅看護の実践技術を習得します。



## 母性・小児看護学実習室

妊婦、産婦、および出産後の女性のケアについて、トレーニングを積みみます。



## 人間機能・病態学実験室

疾病の成り立ちについて実習を通して深めます。

## 管理棟

教務学生課では、教務に関することおよび学生の生活全般の支援や福利厚生などを担当しています。学生生活や健康に関する相談、カウンセリングに利用できる施設や、公開講座・研究会などが行われる研修室があります。

- [GF]**
- ・事務局(教務学生課・総務課)
  - ・地域ケア総合センター

- [1F]**
- ・保健室
  - ・学生相談室
  - ・研修室
  - ・看護キャリア支援センター



## バス停

JR高松駅と看護大を結ぶ市営バスが運行されています。

# 入試情報

## 入学金および授業料など

### 令和7年度 大学院入試情報

課程	入学定員	課程	入学定員
博士前期課程	15名(うち、助産看護学領域5名)	博士後期課程	3名

※出願期間、入学試験日程等の詳細は、入学者募集要項をご覧ください。



### 令和6年度 入試結果

\*博士前期課程の募集人員には、学内選抜を含む

試験区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	実質倍率
博士前期課程	10	6	6	6	6	1.0倍
博士前期課程 助産看護学領域						
博士前期課程	5	7	7	5	5	1.4倍
博士前期課程	第2次募集	—	—	—	—	—
合計	15	13	13	11	11	1.2倍

試験区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	実質倍率
博士後期課程	第1次募集	3	6	6	5	1.0倍
博士後期課程	第2次募集	—	—	—	—	—
合計	3	6	6	6	5	1.0倍

### 個別の入学資格審査

**博士前期課程** 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、受験する年度の3月31日までに24歳に達するものに受験資格を付与します。

**博士後期課程** 個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、受験する年度の3月31日までに26歳に達するものに受験資格を付与します。

※個別の入学資格審査を希望する方は、本学教務学生課にご相談ください。

### 社会人の就学に関する特別措置 (P10)

○教育方法の特例 ○長期履修制度  
※これらの特別措置を希望する方は、志望する看護学領域の教員にご相談ください。

### 科目等履修について

本学大学院では科目毎に履修登録できる科目等履修生制度も用意しています。履修を希望される方は下記までご連絡ください。詳細は本学WEBをご覧ください。  
TEL 076-281-8302 E-mail: kyo@ishikawa-nu.ac.jp

大学院入学者の選抜については、その詳細を学生募集要項により必ず確認してください。



本学教務学生課窓口以外に  
WEBおよびテレメールから請求できます。

本学に入学を志願する者で、障害を有するなど、受験上特別な措置および修学上特別な配慮を必要とする者は、出願の前にあらかじめ本学教務学生課まで連絡し、相談してください。

〈お問い合わせ先〉事務局教務学生課 TEL 076-281-8302 FAX 076-281-8309 E-mail: nyushi@ishikawa-nu.ac.jp

### 入学金および授業料など

入学検定手数料		30,000円	
入学手数料	石川県内者	282,000円	入学前年の4月1日から引き続き石川県内に住民票上の住所を有する者
	その他	423,000円	上記以外の者
授業料		年額535,800円	年2回分割納付
	前期納付期限	4月15日(※)	267,900円
	後期納付期限	10月30日	267,900円

(※) 入学初年度のみ5月30日 令和6年4月1日現在

※経済的理由等により、授業料の納付が困難であると認められる学生については、授業料を減免されることがあります。

### 奨学金

日本学生支援機構奨学金制度があります。詳細は本学WEBでご確認ください。

# TOWN GUIDE

本学がある「かほく市」は、能登半島の入口にある自然豊かで暮らしやすい街です。キャンパスのすぐそばを金沢と能登を結ぶ無料の自動車専用道路「のと里山海道」が通り、JR高松駅からもほど近いアクセス便利な立地です。

**道の駅高松**  
のと里山海道のSA。能登方面にあるのが里海館、金沢方面にあるのが里山館です。地元の食材を使った定食や麺類が人気です。里海館から日本海に沈む夕焼けが楽しめます

**Burning Café**  
淡路島玉ねぎをたっぷり使ったカレーが名物

**GENKY学園台店**  
生活費が節約できるドラッグストアが大学前にあって便利

**HAPPY**  
看護大のすぐそばの手作りケーキのお店

**石川県立看護大学**  
GENKY

**Café Madame Leroy**  
フランスのカフェのようなお店

**竹森ぶどう園**  
かほく市はぶどうの産地で直売所も豊富。ぶどう狩りもできます

**クスリのアオキ (高松北店)**  
日用品や生鮮食品を買うことができる、ひとり暮らしの強い味方!

**高松駅**  
高松駅から看護大まで市営バスが運行されています。約5分、150円

**ジョイアクロス**  
ジム、プール、体育館がある総合型地域スポーツクラブ

**Cacena**  
パスタが絶品のイタリアンレストラン

● スーパー・ドラッグストア ● 銀行・信用金庫・郵便局  
● コンビニ ● 病院・医院・歯科医院  
● 飲食店 ● その他  
● SHOP